

(様式第4号)

上田西部地域協議会 会議概要

1 審議会名	上田西部地域協議会
2 日時	平成26年12月22日 午後7時00分から午後8時30分まで
3 会場	西部公民館 1階 大ホール
4 出席者	高橋会長、増田副会長、渚委員、石塚委員、市村委員、小市委員、小宮山委員、塩野崎委員、渋谷委員、関口委員、田畑冴子委員、田畑裕康委員、濱村委員、堀内委員、宮下委員、山崎委員
5 市側出席者	水野地域振興政策幹、翠川政策企画課長、大矢政策企画課長補佐、北沢市民参加・協働推進課長補佐、北沢市民参加・協働推進係長、堀内市民参加・協働推進係長、樋口市民参加・協働推進主事
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	平成27年1月15日

協 議 事 項 等

1 開 会  
2 会長あいさつ  
3 会議事項  
(1) 第二次上田市総合計画策定における地域まちづくり方針見直しに係る諮問の事前説明について  
(担当課：政策企画課)  
・資料に沿い、担当課から第二次上田市総合計画策定における地域まちづくり方針見直しに係る諮問について、見直しの考え方、位置づけ、基本姿勢、手順について説明  
・以降、協議  
(委員) 市への答申後から第二次上田市総合計画策定までの日程について説明してほしい。  
(担当課) 策定には議会の議決が必要となり、平成27年度の9月議会に上程させていただきたいと考えている。だが、中間報告ということで6月議会の全員協議会へほぼ最終形を中間報告するよう進めたいので、5月中には内容についてまとめていきたい。  
(委員) 地域を強調するあまり、他の地域との差が起こらないか懸念する。行政の考えがベースにあって、その上に地域の考え方があるのか。  
(担当課) 合併前4市町村がそれぞれ目指してきた事を第一次上田市総合計画に記載した経過があるように、地域で育ててきた方向性や目指すものは大事にしていきたい。地域内分権が叫ばれている中で、地域の特性や思いを入れていただき、それぞれの地域が豊かになるような意見をいただきたいと思う。  
(委員) 地域の方向性を総合計画に盛り込むに当たって、市民は発言の場があるのか。  
(担当課) パブリックコメントというような形で、出来るだけ多くの市民の皆さんに参画していただいて総合計画を策定していきたいと考えている。  
(委員) 諮問後の流れとして、素案シートを一言一句チェックするということでもいいのか。  
(担当課) まず、事務局が行政側から見た達成度を示した素案を作成し、それについて委員の皆さんに評価をしていただきたいので、まずはご意見をいただく流れとなる。

(委員) この件について、できるだけ団体の意見を吸い上げる様な場を作って欲しいという要望をいただいたが、私の団体では難しいことを理解していただきたい。

(委員) 達成状況等を文章で示されても、専門用語等もあり理解しがたい。このような理由から達成度はこうなるというような具体的で簡潔な説明文も記載していただきたい。

(担当課) 評価を数値で表せるのが理想であるが、地域の方向性を示す本計画ではそれが難しい。出来るだけ理解しやすく記載するよう努めてまいりたい。

(委員) 以前、都市計画課から説明に来ていただいた都市計画マスタープランとは全く別の計画か。

(担当課) この上田市総合計画が上位計画で、都市計画マスタープランはその下位計画という位置づけとなる。

(委員) 次回の協議会に諮問ということだが、その際に資料が提示されるだけなのか。それとも事務局から素案について説明してもらえるのか。

(担当課) 事前に資料を郵送し、内容をご確認いただいた上で、諮問後にそれについて説明させていただきます、すぐに意見交換を行えるよう進めていきたい。

(委員) 事前に頂ける資料は目を通しておく程度でいいのか。

(担当課) 事前にご確認いただく中で、理解しがたい箇所もあると思うので、次回の協議会の際に、しっかりと説明させていただきます。

(2) 地域内分権推進に関する基本的な考え方について(担当課:市民参加・協働推進課)

- ・資料に沿い、地域内分権推進に関する基本的な考え方について担当課から概要を説明
- ・以降、協議

(委員) 地域経営会議では具体的にどのようなことを行うのか。

(担当課) 地域経営会議は、将来的な地域の自治のあり方を検討いただく場と考えている。まず自治会、地域協議会委員、各種団体等が集まり、地域の課題や各団体における課題などを話し合い、地域内での情報を共有し、解決策などを話し合ってくださいことから始めていただき、最終的には将来的な課題に対応するための組織づくりや取組などについて検討いただきたいと考えている。

(委員) 最終的に住民自治組織をつくらなければならない理由は何か。

(担当課) 住民ニーズが多様化しており、公平・公正なサービスと限られた財源の中で、住民ニーズにきめ細かく、的確に対応することが難しくなっている。また、急速に少子高齢化や人口減少が進んでおり、今後地域の活動も停滞することが見込まれ、社会保障費の増大により市の財源も限られてくる。こうした中、本日配布した資料のとおり、わがまち魅力アップ応援事業など住民の主体的なまちづくりも活発に行われている。

このため、自治会や各団体等が連携した住民自治組織を設立していただき、地域のニーズに見合ったまちづくりを交付金等により進めていただくほうがよりきめ細かく、より迅速に進めることができると考えている。こうしたことから住民自治組織について検討をお願いするものである。行政が地域で行っている全てのことを住民の皆さんにお願いすることは考えていない。

(委員) 住民自治組織が設立されれば、住民自治組織の取組を市に申し出ることにより交付金が交付される仕組みになるのか。

(担当課) 交付金制度については検討段階である。いずれにしても一定の額を住民自治組織に交付し、地域に共通した課題の解決などに活用いただき、活用方法については住民の皆さんで決定していただきたいと考えている。

(委員) 交付金で住民自治組織の取り組む内容が全て実施できればよいが、結果として地域において金銭面で負担が増えてしまうことになるのではないか。

(担当課) 現在でも必要な取組は自治会等が自ら負担して行っているものもある。交付金の活用については地域の皆さんで決めていただくものなので、取り組む内容が地域の金銭的な負担を伴っても行うべきか、交付金の範囲で行うかは地域において判断をお願いしたいと考えている。

(委員) 地域協議会で検討したことが地域に生かされていないという課題があるので、住民自治組織が自治会のような実行力を持った組織にするにはどうしたらよいか地域で検討していく必要がある。

(担当課) 地域経営会議の場でご指摘の点についてご検討をお願いしたい。

(委員) 住民が主体的に進めるとのことだが、地域経営会議の立上げの段階では、住民主導で進めていくことは難しいのではないか。

(担当課) 今年度、地域経営会議のモデルとして進めている神科・豊殿、川西、丸子の3地域は、市から提案させていただき、3地域に配置した地域担当職員や地域自治センターが事務局的な立場で関わっている。地域経営会議の立ち上げに当たっては市も積極的に関与させていただきたいと考えている。

(委員) 県内にも先進地はあるが、上田市が提案しているような住民自治が進んだという声はあまり聞かないがどう考えているか。

(担当課) 地域内分権の取組は全国的にも緒に就いた段階であり、成果が現れるには時間がかかるものと考えている。今後10年、20年という長いスパンで将来を考えるとこの時期から試行錯誤しながら上田市に見合った地域内分権のあり方を地域の皆さんと検討していく必要があると考えている。

(委員) 交付金の使途を地域で決定することになると身近なことでもあり、地域でもめるようなことにならないか。

(担当課) 交付金の使途を決定するに当たっては、公金でもあるので住民の皆さんに十分公開し、検討したうえで決定いただきたいと考えている。市もアドバイス等に行いたいと考えている。

(委員) 西部地域には地域担当職員が配置されているのか。

(担当課) 現在、地域経営会議のモデルを進めている豊殿、川西、丸子の地域自治センターに各1名配置している。西部地域については、今後地域内分権の進捗状況に応じて配置を検討していきたい。

(3) 分科会

・協議の結果、本日の分科会は中止。

(4) 今後の予定

【次回日程】 平成27年1月28日(水) 午後7時から

4 その他

・特になし

5 閉会